



東山小学校だより

平成31年4月25日

※ 町内配付4月25日

教育目標 「心豊かに たくましく 自ら学ぶ 東山の子」

先週、グラウンドの桜が満開でした。ふと、いちばん左の桜だけは、花が咲いていながら葉っぱも茂っています。不思議に思ってよく見ると、葉の正体は「つる植物」。桜の幹に巻き付いたつるをコケが被い、見た目は完全に一体化しているのです。この桜たちはいつからここにいるのでしょうか？東山小創立時でしょうか、小栗山小時代からでしょうか。そしてまた気付けば、大げやきはいつの間にか小さな葉っぱをたくさんつけていました。一方、地面には落ち葉がドッサリ…この営みを700年間も繰り返してきたスゴさを感じます。今週はもう、桜は葉桜に…げやきの方は、日に日に葉の青さを増して、空が見えなくなってきました。あたたかく良い季節になりました。



新生 !? 2019年度 東山小学校

始業式から半月…「今年の東山小は何か違うぞ！（もちろん良い意味で…）」と度々感じます。桜の木や大げやきに負けず劣らず、子どもたちにももの凄い勢いというか活気を感じます。新学期が始まってすぐに、登下校時のあいさつや全校朝会や集会での雰囲気「おっ元気(活気)があるな」と感じていましたが、「むむ…これは違うぞ！」と実感したのは、音楽朝会での「闘牛の歌」と「錦鯉の歌」の練習でした。今年度はじめてということでCD演奏での練習でしたが、明らかに歌声や表情が違います。やはり大きな要因としては、4人の新入生があり、学年が一つ上がったことなのでしょう。しかし、どうもそれだけではないようです。

「学校の顔」とも言える高学年の5,6年生からは「何かを為したい！」という、みなぎる「やる気」を感じます。今週から運動会実行委員会の活動が始まりました。それに先立って、応援団長など運動会の様々な役割を決めるところから、「自分も何かやりたい」と前向きに立候補したり、「全員に出番がある、全員が活躍できる運動会にしよう」と話し合ったりしたようです。子どもたちから「自分たちで工夫して運動会を創り上げ、地域の人たちと一緒に楽しもう。」という姿勢が感じられます。これは、昨年度中には、あまり感じられなかったことです。そんな子どもたちの姿を見聞きして、ふと谷川俊太郎の「春に」という詩が思い浮かびました。

今年の運動会は、様々な新たな試みを行います。その多くは子どもたちの発案でもあります。うまくいかないこともあると思いますが、ぜひ、ひと味違う子どもたちの姿を見ていただきたいと思います。新生 東山小学校にご期待ください！

春に

谷川俊太郎

この気もちはなんだろう
目に見えないエネルギーの流れが
大地からあしのうらを伝わって
多くの腹へ胸へそうしてのどへ
声にならないさけびとなってこみあげる
この気もちはなんだろう
枝の先のふくらんだ新芽が心をつつく
よろこびだ しかしかなしみもある
いらだちだ かもやすらぎがある
あこがれだ そしていかりがかくれている
心のダムにせきとめられ
よどみ渦まきせめぎあい
いまあふれようとする
この気もちはなんだろう
あの空の青に手をひたしたい
まだ会ったことのないすべての人と
会ってみたい話してみたい
あしたとあさってが一度にくるといい
ぼくはもどかしい
地平線のかなたへと歩きつづけた
そのくせこの草の上でじっとしたい
大声でだれかを呼びたい
そのくせひとりで黙っていた
この気もちはなんだろう

インフルエンザ再流行 当校でも…

数日前に「インフルエンザ再流行の兆し」という報道がありましたが、冬季には1人の罹患もなかった当校でも、今週に入ってついに発生しました。25日現在4名罹患です。予防接種の効果が切れ、最近の寒暖差で体調を崩したことによる抵抗力低下が要因と報道では伝えていました。小千谷市内では「感染性胃腸炎」の流行も報告されています。学校では「手洗い・うがい・換気の励行」など、予防や流行防止の取組を強めています。保護者・地域の皆様もどうぞご注意ください。

平成から令和へ～ GoldenWeek & 牛の角突き初場所

「超大型10連休」と話題のゴールデンウィークが目前です。連休中に平成が終わり、いよいよ新しい時代「令和」となります。平成の始まりと違ってご崩御によるものではないので、日本全国お祝いムードになりそうです。「角突き 初場所」も一層盛り上がるのではないかと楽しみです。

さて、2月25日の学校だよりで少し紹介し、20日付の小千谷新聞でも取り上げていただきましたが、今年度、東山小学校はお盆場所を除く6場所を登校日として角突きに参加します。（昨年までは初場所だけ登校日としていました。）毎回「闘牛の歌」を発表し、会場での活動中は法被を着て過ごします。角突きとともに、子どもたちの活動も是非ご覧いただきたいと思います。

と言うわけで、東山小は10連休ではなく、初場所を挟んで6+4の大型連休となります。親戚が集まったり、家族で過ごす時間がたくさんあったりと、子どもたちにとってはとても楽しい大型連休ですが、新学期が始まって3週間…緊張感がほぐれ、はりきって頑張ってきた疲れが出る頃でもあります。ケガや病気に気を付けて、充実した休みが過ごせるよう、保護者の皆様にはお子様に目を配っていただきたいと思います。また、屋外で遊ぶ子どもには、地域の皆様からも気に留めていただき、お声掛けくださるとありがたいです。どうぞよろしくお願いいたします。

「自分の命は自分で守る！」交通安全教室

18日(木)、3名の交通安全指導員さんと市職員2名においでいただき、交通安全教室を行いました。はじめに自転車の乗る前のブレーキ点検、そして安全点検や乗り降りの注意などを、実演つきで丁寧に教えていただきました。自転車ではよく「手信号」を使いますが、小千谷市では山間地の坂道が多く、安全のためハンドルから手を放す手信号は使わないということも教わりました。

その後は、グループごとに歩行者と自転車に分かれて、それぞれの安全確認や横断のしかた、自転車の乗り降りや発進停止のしかたなどの実技講習を行いました。後半は3～6年生で、学校正面前の坂道で、自転車での坂道の走り方を実技講習を行いました。

先日も千葉県で青信号を横断中の小学生が死傷する痛ましい事故がありました。報道を見て憤りを覚えながら、最後は「自分の命は自分で守る！」しかないのだと痛感しました。保護者の皆様には日頃からの注意喚起と、自転車の点検整備をよろしくお願いいたします。



2019年度 東山小学校 5月の生活目標

「めあてに向かって、トライやる！」

- めあて達成に向けて、挑戦しよう！
- 自分の役割をはたそう。
- 友だちをほめたり、励ましたりしよう！

「トライアル」…「試み・試行」。運動競技では「予選」や「試技」として使われ、競技大会自体を指すこともあります。もとの動詞「トライ」は「試みること」ですが、そこから、私たちは普段「挑む・挑戦する」というような意味で使っており、「やってほしい」気持ちからモジりました。

連休明けから運動会への様々な動きが加速していくこととなります。子どもたちには、活動の中で自分の役割をしっかりと果たしたり、自分のめあてに向かって行動を起こしてほしいと思います。些細なことでも、それが自分にとって意義のあることだと意識して確実な一歩を踏み出すことが重要だと考えます。他から与えられたものではない「自分のめあて」「自分の役割」に向かって行動を起こすこと…ポイントは「当事者意識」です。

「自分事」として取り組んだとき、それがたとえうまくいかなくても、必ず成長に繋がります。そしてそのように取り組んだときにはじめて、同じように取り組んでいる周囲の友だちの頑張りや良さに目を向けて、感心したり、応援したりすることができるのではないかと思います。

このようなことは、行事に対してだけではなく、何事にも言えることですが、今回は運動会を良い機会と捉えて、生活目標の実践に「トライやる！」です。